

事務事業名	中部日本横断自動車道参画事業		所属部局	建設部		単位番号	7043										
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博										
	☐ 実施計画事業		所属担当	計画担当		担当者名	三柵 武										
基本政策	基本計画体系	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目							
政策		11 道路網の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	4	0	1	0	2	0	0	9	
施策		18 生活関連道路の整備		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業													
				☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	なし													
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)																
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 期成同盟会の会議・研修に参加し、情報交換を行うとともに関係機関への陳情活動等を実施し、中部日本横断自動車道(静岡・上越間)の整備促進を図る。		事業費の主な内訳 (22年度)														
			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)								
			旅費(費用弁償)		17												
			旅費(普通旅費)		19												
			負担金(その他)		52												
														計		88	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	期成同盟会主催の会議、陳情活動への参加 会費の納入
23年度活動予定	期成同盟会主催の会議、陳情活動への参加 会費の納入
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
職員・女性みちの会会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
期成同盟会の会議・研修等に参加して情報交換や意見交換を行うことにより、中部日本横断自動車道整備の重要性を認識し、効果的な陳情活動が行える状態にする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
高速道路をはじめ、生活関連道路が整備され、地域の活性化を図れる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	
ア	期成同盟会の会議・陳情活動回数
イ	回
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	
ア	期成同盟会の会議・陳情活動参加
イ	回
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	
ア	有益な情報交換・交流が図れたと感じた参加者の割合
イ	%
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	
ア	目的地までの移動時間が短縮されたと感じた住民の割合
イ	%
ウ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	94	88	92	100	92	92	
	事業費計 (A)			千円	94	88	92	100	92	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	15	15	15	15	15	15	
		人件費計 (B)	千円	67	67	59	59	59	59	0
	(A)+(B)			千円	161	155	151	159	151	0
活動指標			アイウ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標			アイウ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
成果指標			アイウ	%		70.0	70.0	70.0	70.0	
上位成果指標			アイウ	%	54.9	61.4	62.0	64.0	64.0	

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	中部日本横断自動車道の整備促進を図ることを目的に、合併前より、主に沿線の県及び市町村で構成されて開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	現在、道路の整備も進み、一部供用されているが、未整備区間も残っているため、引き続き事業を進めていく必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	早期完成が望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の主な内容が情報交換、陳情活動であるため、特に改革改善はなされていない。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	中部日本横断自動車道参画事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 情報交換や陳情活動といった行動を継続して実施することにより、事業の促進が図られ、結果的に、生活関連道路の整備につながる。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 国、県をはじめ関連市町村と協力して公共性の高い道路整備の促進を図る事業のため妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 国をはじめ関連する県や市町村と協力して公共性の高い道路整備の促進を図るための事業なので妥当といえる。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 定期的に沿線の県をはじめ関連市町村と連携しながら情報交換、陳情活動が行われており、向上の余地は無いといえる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 主に中部日本横断自動車道の整備について、女性みちの会も参加して実施する事業であり、類似性が高いといえる。
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業・クローバーネットワーク参画事業と事務内容が類似しているため、女性みちの会運営事業として統合することにより事業費の削減が可能となる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業・クローバーネットワーク参画事業と事務内容が類似しているため、女性みちの会運営事業として統合することにより人件費の削減が可能となる。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 極めて公共性の高い道路整備の促進を図ることを目的としているので公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	総会及び国への陳情等が主であり他事業との統合が望ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
① 甲西道路・中部横断自動車道参画事業と同一路線であるので統合。		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	対象外																					
③		コスト削減優先度評価結果	対象外																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①																								
②																								
③																								